

2016 ひまわりの夏

2016年 夏 ひまわりの元気な顔を届けます

- 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11
- 奥播磨 たたらの郷 佐用のひまわり 2016.7.20.

東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

2016 ひまわりの夏 到来

無理せず元気に この夏をお過ごしください

2016.8.1. From Kobe



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.



西神戸六甲 須磨 旗振山から眺める須磨の海
まちかねた夏の到来



西神戸六甲 須磨 旗振山から眺める夏の須磨の景色



2016年 夏 ひまわりの元気な顔に出会えました

■ 東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

2016 ひまわりの夏 *from Kobe*

黄色い元気なまん丸の顔・顔・顔 一斉にこちらを向いて「よう!!」と
今年も元気なひまわりに出会えました。

無理せず元気に この夏をお過ごしください

2016.8.1. *Mutsu Nakanishi*

東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

2016 ひまわりの夏

無理せず元気に この夏をお過ごしください

2016.8.1. From Kobe

東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

2016 ひまわりの夏

■ 奥播磨 千種川が流れ下るたたらの郷 佐用のひまわりを訪ねる 2016.7.20.



千種川 たたらの郷に咲く ひまわり

梅雨時に奥播磨の長雨による日照不足で、佐用町林崎のひまわり畑の成長が随分遅れました。毎年眺めるひまわりの景色とは ちょっと異なっていました。

でも 千種川 が流れ下るたたらの郷に咲く元気なひまわりに今年も出会えました。

2016.7.21. 佐用林崎のひまわり畑で *Mutsu Nakanishi*



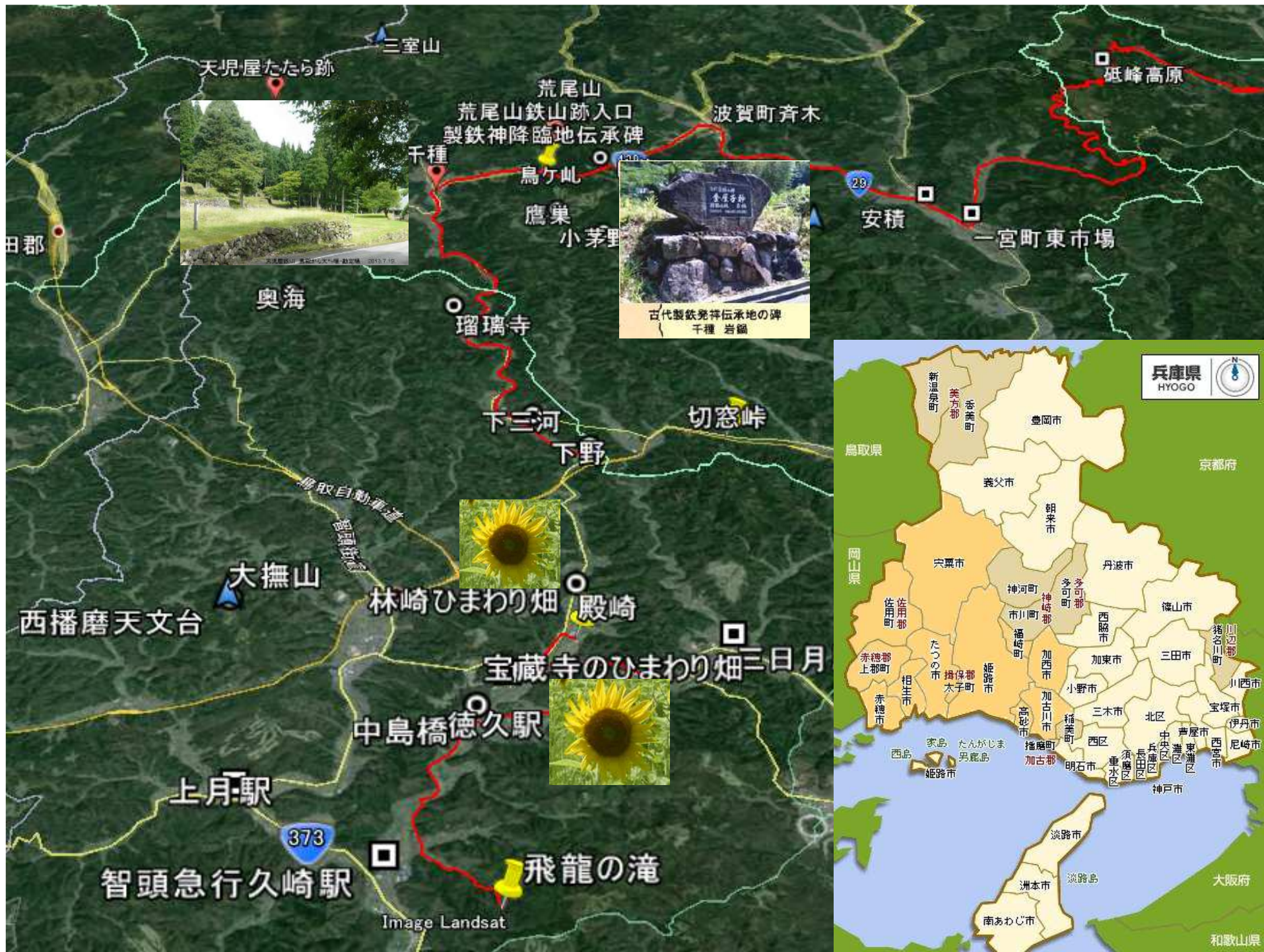
奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり 2016.7.21.

2016 ひまわりの夏

各地から届くひまわりの便りに、7月11日 毎年出かける奥播磨佐用のひまわりに出会いに行きましたが、奥播磨では梅雨時の長雨と日照不足で随分遅れていて、出会えずでした。7月20日に この時に下見した「製鉄神 金屋子神 降臨の伝承地 千種岩鍋(岩野辺)」の近世のたたら跡 荒尾山鉄山遺跡を訪ね、その午後 再度佐用のひまわりを訪ねました。毎年眺めるひまわりの景色とは ちょっと異なっていましたが、ひまわりの元気な姿に出会ってきました。今年志文川沿いの宝蔵寺の郷のひまわり畑で、一度撮ってみたかった「ひまわり畑に行く姫新線の列車」のスナップを撮ることができました。また、佐用の夏のすがすがしい景色として教えてもらった佐用一の滝「久崎の飛龍の滝」へも立ち寄ってきました。夏の太陽がキラキラ照り付ける暑い一日ですが、また 今年も作用で元気をもらって帰ってきました。



宍粟市の中心山崎から西へ山崎断層の中千種・佐用へ 切窓峠 2016.7.20.





福崎で市川を渡ると その西は奥播磨の山里 市川の背後に特徴ある七種山の姿が見える。 2016.7.20.
山崎断層の中を中国自動車道と並行して西へ延びる県道23号を 宍粟市の中心 山崎へ
交通量も めっきり少なくなり、静かな緑あふれる狭い谷間 山の街道筋の風景を楽しみながら
夢前・安富の街を通過してゆく。この夢前・安富の山里も今は姫路市だ。



緑の街道筋 峠越えの向こう遠くに山崎の街が小さく見え、狭い街道脇の材木市場から、心地よい木の香りが漂う中 長い坂を下ると揖保川の山崎大橋を渡って、宍粟市山崎に入る。山郷であるが、ここは奥播磨 宍粟市の中心で、鳥取への因幡街道(国道29)が北へ揖保川沿いを遡ってゆく。まだ早朝ですが、アユ釣りのシーズン 幾人か釣り人が川に入って 竿を出しているのが見えました



山崎鹿沢の街を抜けるとさらに西の佐用・山崎へ 山崎断層の山間の峠道 県道53号線 2016.7.20.

揖保川沿いを北に遡る因幡街道と別れて、さらに西へ街中を抜け、千種・佐用へ向かう

両側を緑の壁で挟まれた山崎断層の中 交通量はさらに少なく、原チャリが緑の山中の景色を独り占めにして、快調に山中をつききってゆく。 いつもながら一人きりの心地よさが楽しい千種・佐用への街道筋である



山深い山崎と千種・佐用の峠 切窓峠 2016.7.20.



切窓峠を下り、佐用に入ると まもなく見慣れた山に囲まれた下三河の郷への坂道 下三河のT字路へ



北の千種から南の佐用へ 千種川が流れ下る下三河のT字路 2016.7.20.
左へ行くと ひまわり畑の佐用徳久 右へ道を取るとかつての中央鉄・千種鉄の中心地 千種



両側を山に挟まれて千種川が流れ下る下野の郷 2016.7.20.

奥に千種の山々 山に挟まれた狭い河岸段丘が広がる景色はいつ来ても気持ちよい。

下野の郷で 南へ流れ下ってきた千種川は山にぶつかり、西へ折れ曲がって広い河岸段丘が広がる徳久の郷へ。
ひまわり畑はもうすぐ。この下野 すぐ隣の漆野にも ひまわり畑があるのですが、まだ 黄色の姿は見られない。



中国道 漆野の鉄橋をくぐると 山間に広い河岸段丘徳久地区 まもなく林崎のひまわり畑である 2016.7.20.
千種から流れ下ってきた千種川の流れは速い。透き通った清流が水しぶきをあげながら流れ下る

例年と違う佐用林崎のひまわり畑 2016.7.20.

千種川に沿って徳久地区 河岸段丘に広がる田園の中を西の林崎のひまわり畑を目指す。狭い谷あいの集落 下野・漆野の集落をぬけ、西徳久の高下・殿崎に出ると前方にパッと緑の田園が広がる東徳久。

例年だと緑の中に田園を覆いつくすひまわりの黄色い帯が見えてくるのですが、どうも様子が違う。

千種川の南側の河岸段丘に広がる田園地帯にいつもなら見られる黄色の帯が見られない。林崎のひまわり畑の横まで来るとそれでも いくつもひまわりが咲いているのが見え、畑に多くの見物する人たちが見え、ひと安心。

もう ひまわり祭りは終わったと聞いたのですが、今年この東徳久林崎地区のひまわりはこれからのようだ。



街道筋から 千種川越しに見る林崎のひまわり畑 2016.7.20. 13:50

まだ 5分咲き程度だという。でも 黄色の姿が見え、見物の人たちの姿もひまわり畑の中に見える

2016 ひまわりの夏 from 佐用のひまわり畑

- 徳久 林崎のひまわり畑
- 宝蔵寺のひまわり畑で 2016.7.20.

佐用町で一番早くひまわりが咲く宝蔵寺集落のひまわり畑 2016.7.20. 14:50

2016 ひまわりの夏 from 佐用のひまわり畑

■ 徳久林崎の郷のひまわり畑で 2016.7.20.



奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり 2016.7.20.



奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり畑で 2016.7.20.



奥播磨 千種川 佐用町林崎のひまわり畑で 2016.7.20.

林崎のひまわり畑から 宝蔵寺の郷のひまわり畑へ 2016.7.20.

田園を黄色の帯で覆いつくす元気なひまわりの景色を林崎のひまわり畑を期待したのですが、残念ながら今年はお預け。ひまわり畑でのスナップを切り上げ、毎年 この林崎より早くひまわりが開花する宝蔵寺地区のひまわりを訪ねることに。この宝蔵寺地区は徳久地区から南へ山を越えたところで、徳久の西で千種川に合流する志文川が流れ、志文川に沿う姫新線の列車がひまわり畑に沿って走る。



3.56 km

© 2016 ZENRIN

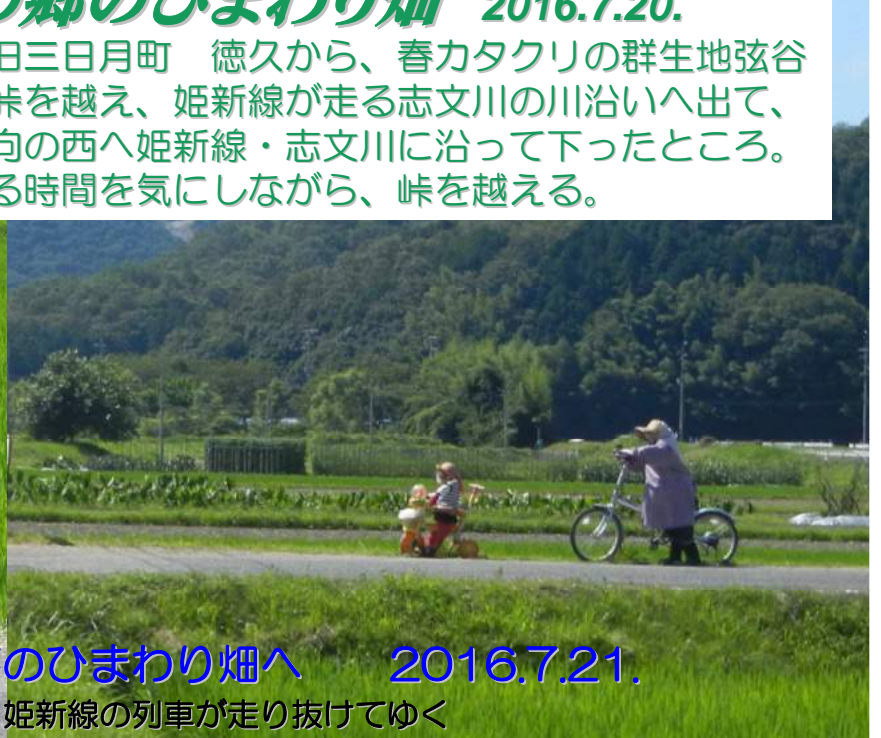
449

Go



宝蔵寺の郷のひまわり畑 2016.7.20.

宝蔵寺地区は旧三日月町 徳久から、春カタクリの群生地弦谷へ行く道筋。峠を越え、姫新線が走る志文川の川沿いへ出て、弦谷とは逆方向の西へ姫新線・志文川に沿って下ったところ。列車の通過する時間を気にしながら、峠を越える。



佐用町で一番早くひまわりが咲く宝蔵寺集落のひまわり畑へ 2016.7.21.

畔の案山子たちが出迎えてくれ、ひまわり畑に沿って 姫新線の列車が走り抜けてゆく

周囲の山々をバックに ひまわりが元気な顔を一齐にこちらへ向けて立ち並んでいる。
やっと2016年夏 佐用のひまわりに出会えた。ひまわり畑では三脚を立てて列車が通過するのを待つ人が数人みえるだけである。一度撮りたかった「ひまわり畑をゆく列車」の写真が今年撮れる。先陣の邪魔しないよう志文川の土手に座って列車が来るのを待つ。

佐用町で一番早くひまわりが咲く宝蔵寺集落のひまわり畑 2016.7.20. 14:50



佐用町 宝蔵寺集落のひまわり畑を行くJR姫新線の列車 2016.7.20. (写真合成)

待つこと約20分ほどで 下りが通過して さらに20分上りが通過してゆく。最初はどうも行かなかったのですが、下りの列車はうまく撮れました。でも 鉄道写真を撮る人は忍耐強いとつくづく



佐用町 宝蔵寺集落のひまわり畑を行くJR姫新線の列車 2016.7.20.



佐用町 宝蔵寺集落のひまわり畑を行くJR姫新線の列車 2016.7.21.



佐用町 宝蔵寺集落のひまわり畑を行くJR姫新線の列車 2016.7.21.

2016 ひまわりの夏

■ 宝蔵寺集落のひまわり畑で 2016.7.20.

佐用町で一番早くひまわりが咲く宝蔵寺集落のひまわり畑 2016.7.20. 14:50

佐用町一の滝 佐用町櫛田「飛龍の滝」へ行く 2016.7.20.



林崎のひまわり畑の事務所で教えてもらった夏一番の爽やかスポットで、佐用一の滝「飛龍の滝」。
近くなので、おすすめポイントと地図と案内をいただいた。
場所は徳久地区から、千種川に沿って少し南へ下がった所。
大きな滝で涼しいと聞いて、少し足を延ばして立ち寄ることに。



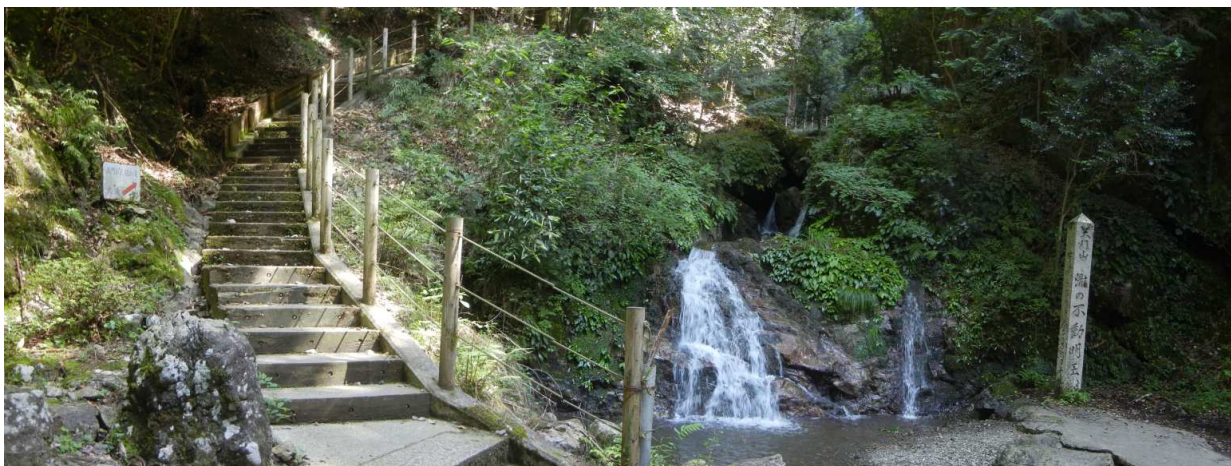
志文川との合流点近く千種川ガキラキラ輝きながら流れ下る千種川中島橋で 2016.7.20. 15:00
このすぐ先 正面の山並みのところが、志文川との合流点である



佐用町随一の滝「飛龍の滝」 旧上月町櫛田 滝谷川

龍の滝は、上月町櫛田の滝谷地内を南から北へ流れる滝谷川の上流海拔約200mから同240mのところ。佐用郡随一の規模を誇り、約16mの高さから落ちる水の音としぶきは壮観。

滝中央部あたりの壁岩が突き出し、水の流れに変化がついており、これが飛龍の姿に似ていることからこの名前がつけられたと伝えられている。





川幅が広がった千種川が下ってゆく 石井橋で 2016.7.20. 15:00

この石井橋のところに 飛龍の滝への案内標識があり、橋を右手側に渡って、さらに南へ川から離れつつ、櫛田の集落から 山中に入り、滝谷川の谷筋を南へ詰めたところに飛龍の滝がある。



飛龍の滝

仰ぎ見る 木の間の空に 虹たちて

瀧のしぶきに 濡るるもろ袖

とも詠われているこの飛龍の滝 遊歩道(約90m)をゆつくりと

登ると、静寂の中にその瀧とした姿を少しずつあらわします。

四季折々の風情があり、特に冬の極寒時に時折見せる、凍てつく

滝の美しさは、神秘的で見る人を魅了します。

ここ飛龍の滝でマイナスイオンをたっぷり感じてください。

※マイナスイオンは、滝の入り口には、感じることがありますのでご注意ください。

佐用町



夏の風景



冬の風景

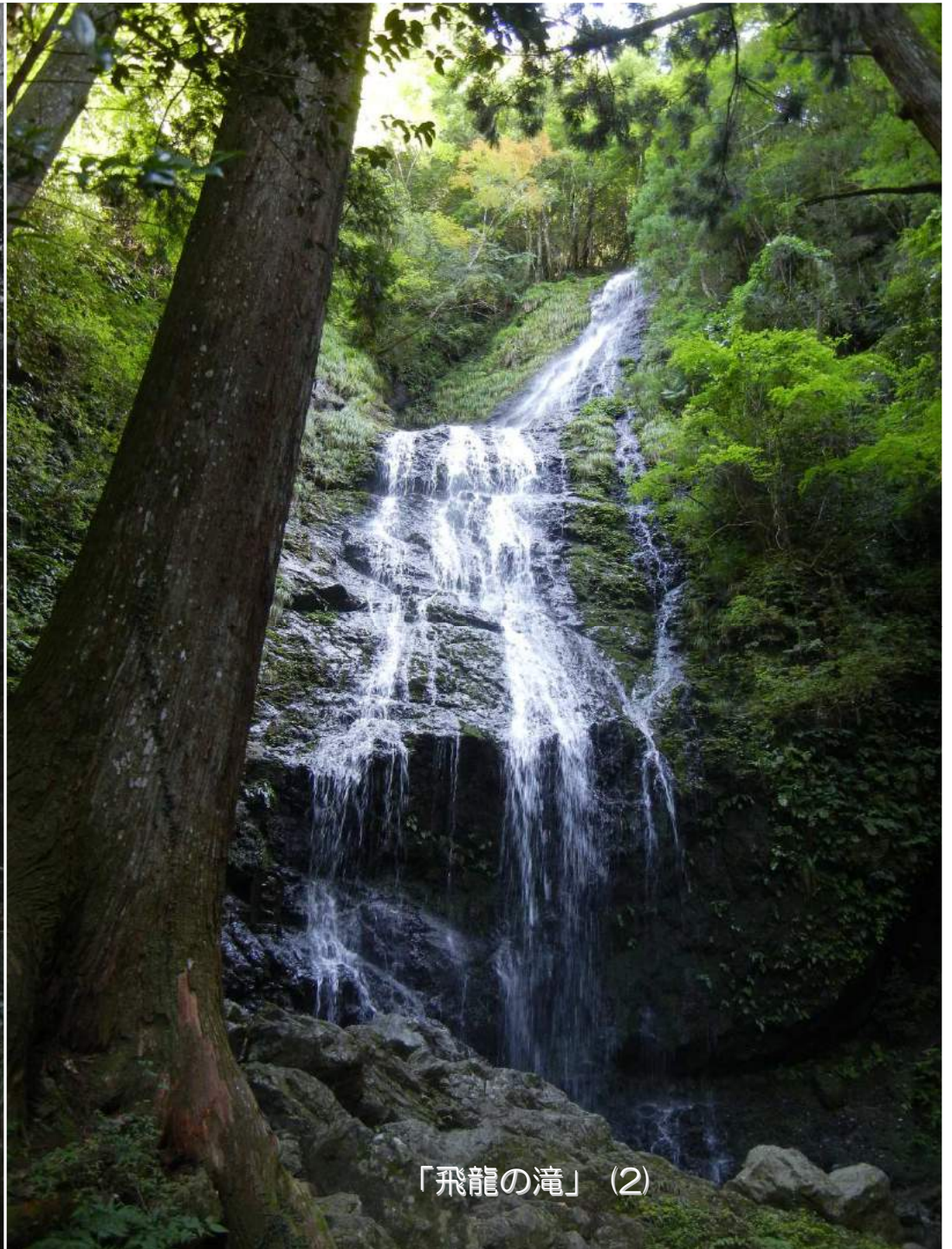
佐用町一の滝 佐用町櫛田「飛龍の滝」への登り口 2016.7.20.



「飛龍の滝」への登り口

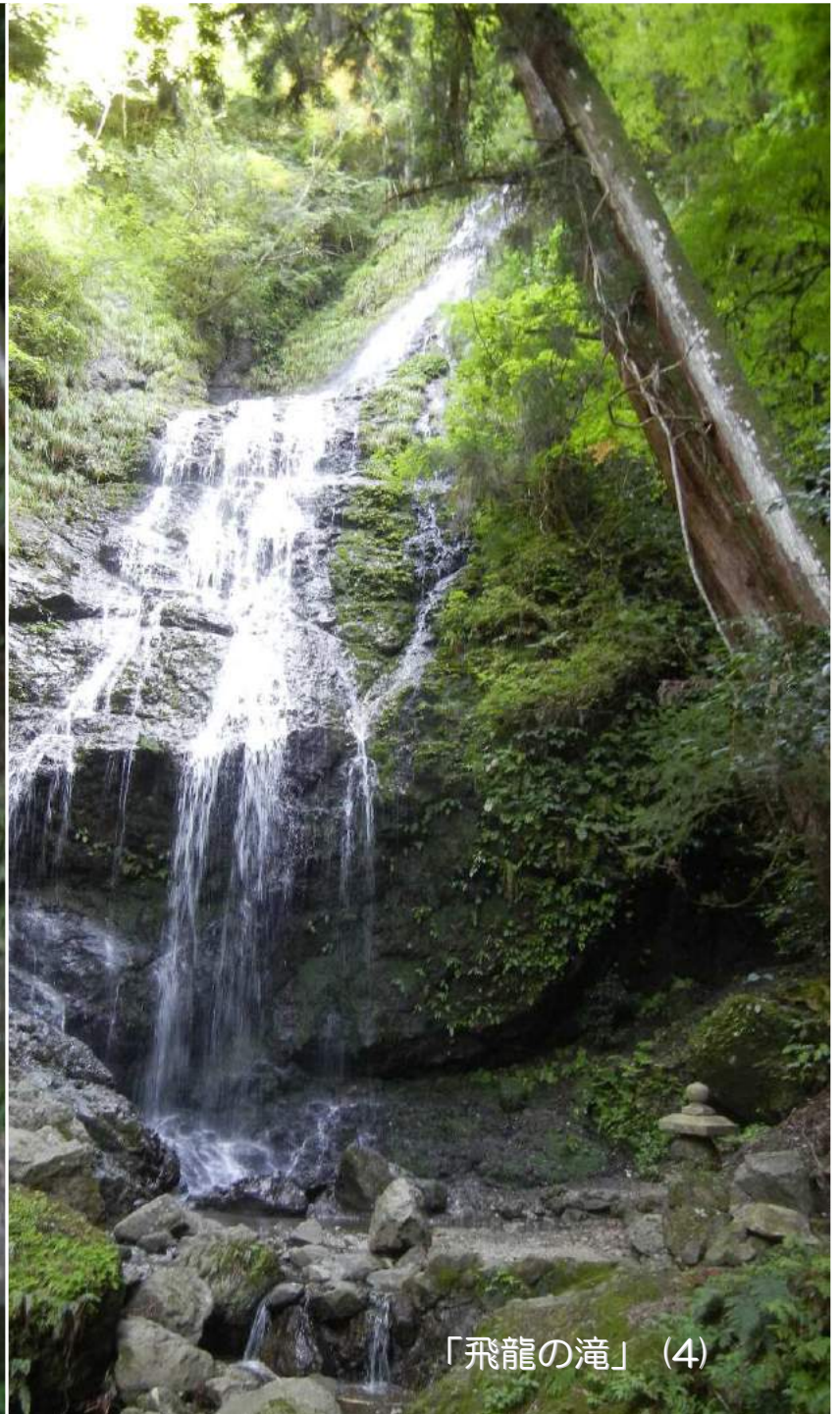


2016.7.20.





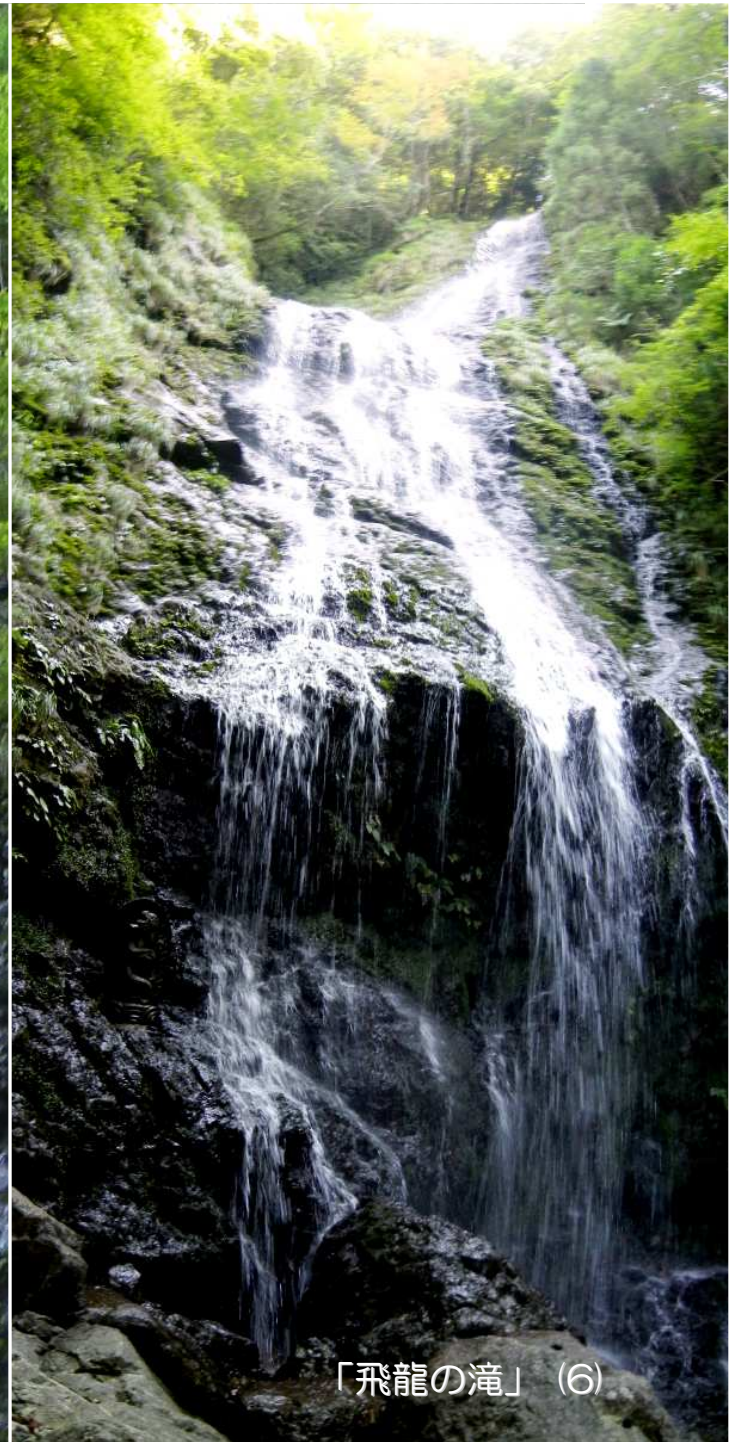
「飛龍の滝」 (3)



「飛龍の滝」 (4)



「飛龍の滝」 (5)



「飛龍の滝」 (6)



「飛龍の滝」 マイナスイオンを全身に浴びて(1) 2016.7.20.



「飛龍の滝」 マイナスイオンを全身に浴びて(1) 2016.7.20.



「飛龍の滝」 マイナスイオンを全身に浴びて 2016.7.20. 15:30

「マイナスイオンを前進に浴びれる爽やかな滝が近くにないやろか？」
ふっと林田のひまわり畑で尋ねて教えてもらった滝
言ってみるもんですね
この夏はそんな滝を探そうと思っていましたが ひったりでした。

誰もいない空間の中 滝の音だけが鳴り響き
マイナスイオンを全身に浴びて 飛び散る水滴を肌で感じられる滝
また 一つ素晴らしい滝に出会えました
さあ また 神戸まで帰らねば...と帰路に



帰路 切窓峠を越えて山崎の揖保川についた時には夕暮れ近く 2016.7.20. 16.20.
揖保川では数多くの釣り人が竿を出している これもひまわりの夏2016 奥播磨 夏の風物詩

2016 ひまわりの夏 2016.7.20.

奥播磨 千種川が流れ下るたたら郷 佐用のひまわりを訪ねる

佐用町林崎のひまわり畑の成長が随分遅れて心配し、また、毎年眺めるひまわりの景色とはちょっと異なってはいましたが、今年も元気な佐用のひまわりに出会えました。デジカメにはひまわり畑を走る姫新線の列車の写真も。飛龍の滝を素晴らしい滝で、午前中に訪ねた千種岩鍋 荒尾山 荒尾山鉄道遺跡を含め、また一つ たたら郷 奥播磨の魅力が増えました。

毎年 元気をもらう夏のひまわり うれしい ひまわりの夏の到来です

2016.7.20. Mutsu Nakanishi

帰路 切窓峠を越えて山崎の揖保川についた時には夕暮れ近く 2016.7.20. 16.20.
揖保川では数多くの釣り人が竿を出している これもひまわりの夏2016 奥播磨 夏の風物詩



東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.

2016 ひまわりの夏

無理せず元気に この夏をお過ごしください

2016.8.1. From Kobe

東播磨 小野市ひまわりの丘で 2016.7.11.